

令和7年4月 定例教育委員会議録

1 日 時 令和7年4月25日（金）午後1時28分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	斎 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹 長	和 俊
学校教育課長	関 根 幸 子	社会教育課長	石 昭 彦
統括指導主事	田 中 辰 弥		

5 本委員会書記

学校教育課 藤 野 聰 他 2名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第3号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

報告第2号 新規共催・後援申請について

議 案

- 議案第15号 燕市社会教育委員の委嘱について
- 議案第16号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第17号 燕市図書館協議会委員の委嘱について
- 議案第18号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について
- 議案第19号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

その他

- (1) 「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

8 閉 会

会議録 別紙のとおり

1 開会宣言

午後1時28分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和7年3月定例教育委員会議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1) はじめに

令和7年度がスタートした。燕の子どもたちをはじめ、市民の皆様の今と未来の幸せのために、各事業を展開していく。社会の変化や最新の教育の動向を注視しながら、建設的、創造的に取り組んでいきたいと考えている。

新たに2つの放課後児童クラブ（小中川児童クラブ、児童クラブメート＝吉田南小）と、校内にあるボランティア室をタイムシェアする放課後児童クラブ（児童クラブフレンド第3＝吉田小）がスタートした。

小中川児童クラブは、「学校から児童クラブへの移動時の心配（交通事故や熱中症、荒天時等）がなくなり、安心して子どもたちを預けられる」との声が早くも届いている。

2) 児童生徒数（4月3日現在）

① 小学校の児童数（14校） 前年比 △118人

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	(特別支援)	計
児童数	516	485	572	542	609	601	(248)	3,325

② 中学校の生徒数（5校） 前年比 △26人

学年	1年	2年	3年	(特別支援)	計
生徒数	597	571	584	(71)	1,752

※燕中等教育学校（前期）に進学した生徒数は含まない。

3) 4月の行事から

① 第35回 燕さくらマラソン大会【4月12日（土）】

○ 咲き誇る桜の下を、県内外から大勢のランナーが健脚を競ったり、ウォーキングを楽しんだりしていた。

- ▷参加申込者数 1,891 人（前年比+21人）過去最多
- ・ハーフ=1,033 人
 - ・10km=431 人 ・3 km=174 人 ・2 km=158 人
 - ・ウォーキング=95 人
- ゲストランナーは、福士加代子さん。子どもたちと一緒に走ったり、声援やハイタッチで激励し、あちらこちらで写真撮影に気軽に応じており、大会を明るく盛り上げていただいた。
- ② 定例校長会【4月 10 日（木）】
- 冒頭、あいさつを申し上げた。「教育は人なり」。校長はじめ教職員のみなさんが、毎日健康で、明るく、機嫌よく、笑顔で、授業に臨み子どもたちに接していただくことが何より大事、そうあってほしいとお願いした。
- 令和7年度当初は、多くの学校で校長の異動があった。校長異動があった学校は、小学校8校（市内異動2校、市外からの異動6校）、中学校3校（市外からの異動）。
- ③ 燕・弥彦科学教育センター運営協議会【4月 10 日（木）】
- 令和6年度事業報告及び決算報告並びに令和7年度事業計画及び予算について協議を行い、いずれも原案のとおり承認された。
- 研修のみならず、PTA 行事などでも依頼が増えている当センター。積極的に学校等へ訪問し、「教育、保育現場からの高まるニーズにしっかりと応えたい」と職員も張り切っている。
- ④ 全県教育長会議【4月 14 日（月）】
- 冒頭のあいさつでは、太田勇二 新潟県新教育長から、①県立高校の将来構想、②確かな学力と教職員の資質指導力の育成、③いじめ防止・不登校対策の取組、④部活動の地域展開、⑤教職員の非違行為の根絶、⑥電子書籍システムの共同導入、⑦学校体育館への空調整備 等について話があった。
- この後、義務教育課、高等学校教育課、生徒指導課、保健体育課、生涯学習推進課、総務課、財務課、福利課、県立教育センターの順で、新規事業や重点事業について説明があった。
- 情報交換の場では、学力向上の取組について、情報交換や意見交換が行われた。燕市の「読解力育成プロジェクト」について関心を持っていただき、求めに応じ、説明させていただいた。
- 4) 結びに
- 今年度も、子どもたちが学習や活動している現場を自分の目でしっかりと確かめ、よさや課題を明確にし、共有に努めていく。よさは全市に広め、課題には、その解決に向け具体策を講じられるよう取り組んでいきたい。

(3) 寄附報告

2件の寄附について

〈No. 1、2について石黒社会教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第3号 共催・後援の教育長専決報告について

7件の共催・後援申請について

〈No. 1、2、3、5について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 4、6、7について関根学校教育課長が説明〉

○学校教育課長（関根 幸子）

令和6年10月に継続後援の承認報告をした宮城復興支援センターが主催している「国際交流＆イングリッシュキャンプ」について、令和7年3月に開催予定であった本事業にトラブルが生じているため、新潟県では後援取り消し手続きを進めるとともに、本事業の注意喚起の通知があった。市としても令和7年4月4日付けで後援承認取消書を発出した。

県からの連絡によると申し込みをしたにも関わらず事業が実施されなかった、参加費が返金されなかつたというトラブルが生じていると聞いている。マチコミメールから保護者宛に注意喚起を促した。

5 協議題

協議第2号 新規共催・後援申請について

2件の共催・後援申請について

〈No. 1について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 2について関根学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

No. 1について、「参加料・入場費」は無料と記載があるが、前回のチラシを確認するとスポーツ体験で200円という記載もあり、今回は全て無料ということか伺う。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

一般的の入場料は無料だが、前回同様体験ブースでは体験料をいただくことになるものと聞いている。

○委員（小林 恵子）

申請書の記入方法について、「無」では体験も含めた事業が無料というイメージである。「※スポーツ体験等は別途記載」といった記載もあると良いのではないか。

○学校教育課（藤野 聰）

ご指摘のとおりと考える。今後の申請から対応していきたい。

○委員（中野 信男）

No. 12について、個々の生徒の実力を即座に上げるようなプログラムになっており、これから学力に影響を与えるものと考える。燕の教育振興を一緒に行なうひとつの手段となり得るのではないだろうか。これら生徒への周知方法を伺う。

○学校教育課長（関根 幸子）

今回は後援申請のみだが、申請者に確認のうえ、周知方法等ご報告する。

審議の結果、全員異議なく協議第 2 号は承認された。

6 議 案

議案第 15 号 燕市社会教育委員の委嘱について

〈石黒社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 15 号は原案どおり議決された。

議案第 16 号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

〈石黒社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 16 号は原案どおり議決された。

議案第 17 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

〈石黒社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 17 号は原案どおり議決された。

議案第 18 号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

〈石黒社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 18 号は原案どおり議決された。

議案第 19 号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

〈石黒社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 19 号は原案どおり議決された。

7 その他

- (1) 「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について
〈関根学校教育課長が説明〉

審議の結果、渡邊愛教育委員に決定した。

8 閉会 午後2時08分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 7 年 5 月 22 日

教 育 長 小林 清直

教 育 委 員 伊東 信男

教 育 委 員 斎藤 純節

教 育 委 員 小林 恵子

教 育 委 員 上田 佳澄

教 育 委 員 渡邊 実

会議録作成職員 伊藤 潔人